

メディカル・コ・ラボ 10月15日(土曜日) 13:30~
東北大学 大学院医学研究科 生体システム生理学分野
第3回 「人工知能時代の学びと脳科学」

虫明 元 教授

学年

① 講義ノート

知能 論理的に考へ、計画的。

人工知能が人間をこねて時間 「シンギュラリティ」

人工知能 ピットゲート、アルゴリズム

△測り頭葉の「かんかく」を類似
しかし人間はそれをしない!!

Ai: 7°のゲルヒー→動く × [20754] 無数の可能性は考へられない
しかし…意味は分かってない

△深層学習 - Ok

生物 人工

自己組織化 7°がいい

感覚器 × ピットゲートの

効率的 0 低効率、体験なし

量子コンピュータ 計算すごい!!

MRI

人 > 人工

・体をもつ

・理解、想像ができる

・遺伝子 → たしかに生物を共有している → 他生物と独立して生きる

ホルモン > ハンセン

社会性(基因理解)

あれこれ同じ

アシナガウマ DNAを解析され…南アフリカの人間住てもいい!!
コロナの変異率高

人 ① 社会性

・ミーティング：相手のしじみ、表情の生む

自分も感情がわかるように??

② 相手を通して自分の感情を理解

・受着 皮膚感覺 初期の感覚 (出生→大人と成長が大きい)…
(安全) いきなり

あると、揮拳→掌ひし→基礎

のサイクルを通してきた

講義中に疑問に思ったこと、不思議に思ったことを書き留めておこう!
※講義後に質疑応答の時間があります。

講義ノート

ホルモン 感覚者

表情のみでコミュニケーションをする → ④ 自分の呼びかけに応じて高い

信頼

自己の自信の向上

脳の内側：社会性、自己理解

② 講義を受けての感想・興味深かったこと

人間は人工知能に劣るつもりと思っていたが、不思議とも思っていた。睡眠についてもちゃんと意味がある
あらためておもしろかったです。

* このノートは次週の水曜日までに 本田 へ提出してください。

後日、講義を担当された先生に提出いたします。